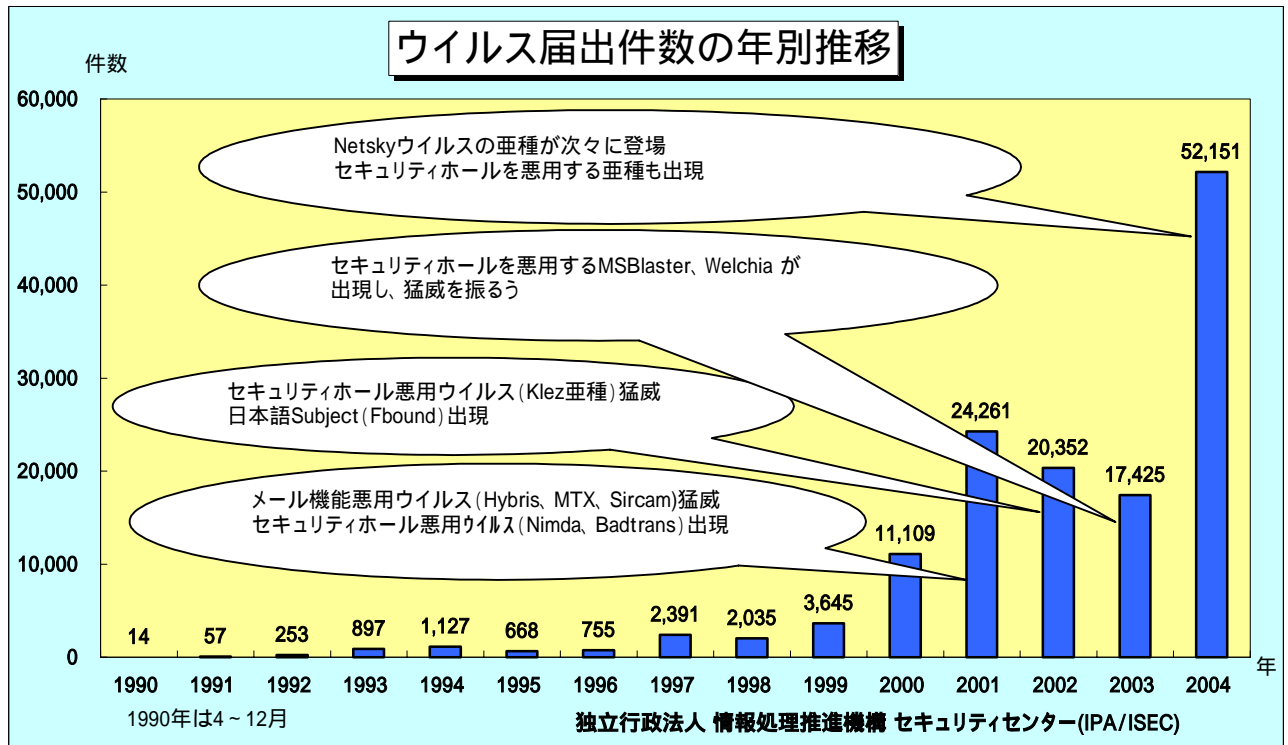


2004年ウイルス届出状況

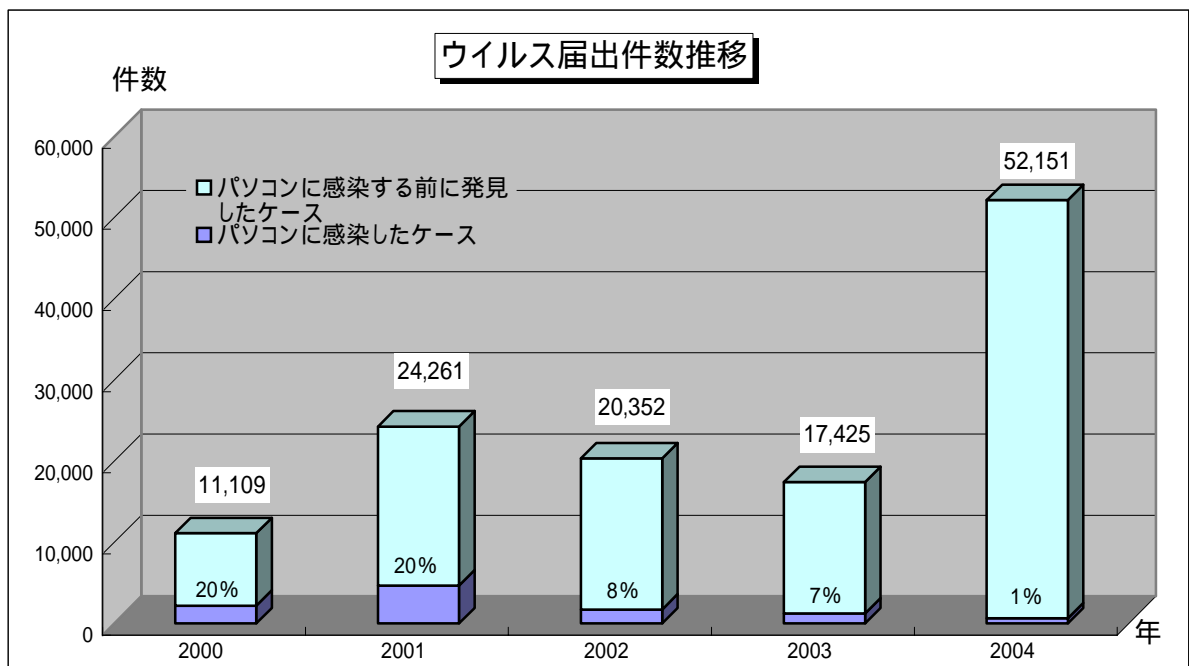
独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2004年1~12月のコンピュータウイルス届出状況をまとめました。

1. 届出件数

年間で52,151件と、前年(2003年)の17,425件から約3倍もの増加となり、5万件を超える史上最悪の件数となりました。



実際にパソコンに感染した(実害があった)ケースは2000年の20%から減少傾向にあり、2002年には8%、2004年はわずか1%にとどまりました。ウイルス対策ソフトの導入など、セキュリティ対策への意識が向上している状況が伺えます。



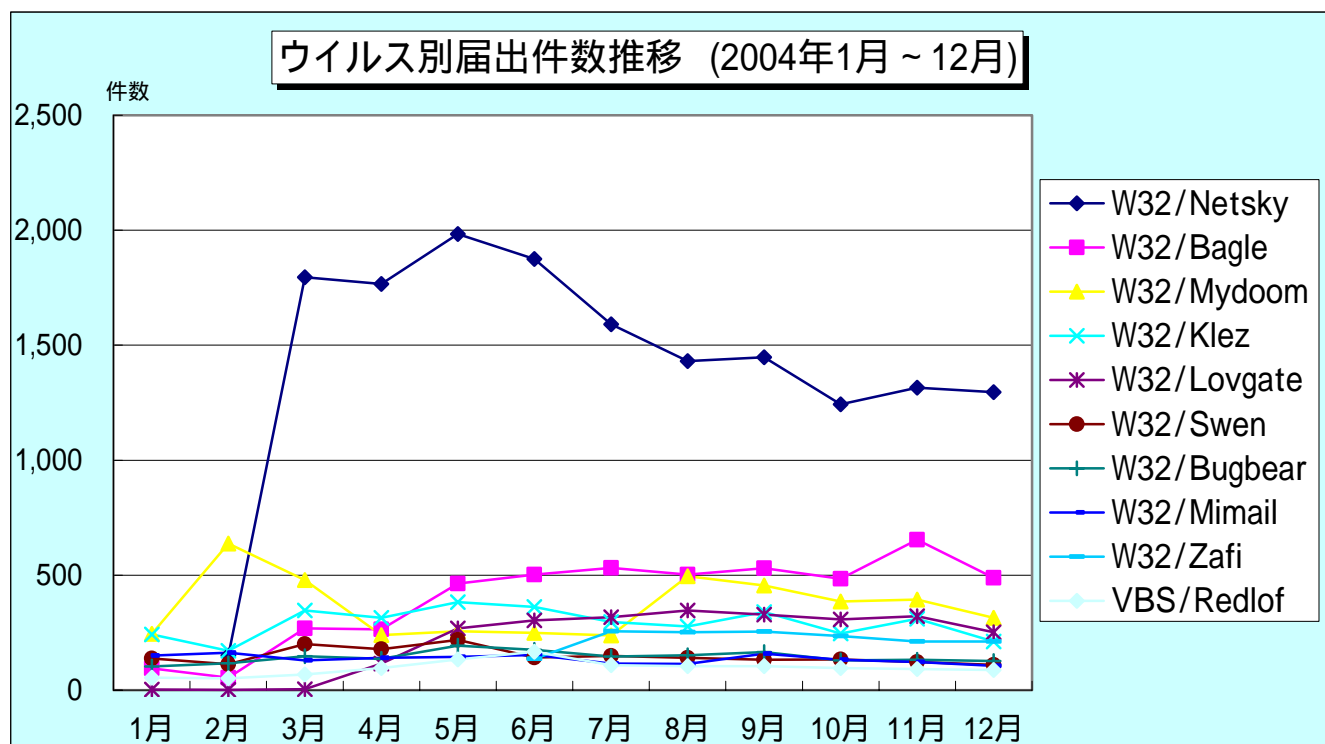
2.届出ウイルス

届出されたウイルスは142種類(2003年94種類)で、2004年に初めて届出されたウイルスは53種類(2003年29種類)でした。その中で、最も届出件数の多いウイルスはW32/Netskyとなり、次いで、W32/Bagle、W32/Mydoomの順となりました。

ウイルス名称	2004年	2003年	メール機能悪用	セキュリティホール悪用
W32/Netsky	15,895	-		
W32/Bagle	4,838	-		
W32/Mydoom	4,388	-		
W32/Klez	3,498	4,538		
W32/Lovgate	2,569	165		
W32/Swen	1,776	1,673		
W32/Bugbear	1,727	1,602		
W32/Mimail	1,629	883		
W32/Zafi	1,557	-		
VBS/Redlof	1,162	803		
その他のウイルス	13,112	7,761		
合計	52,151	17,425		

備考：件数には亜種の届出を含む

メール機能悪用かつセキュリティホール悪用ウイルスは、添付ファイルを開かなくても、メール本文を表示した段階で感染する可能性のあるウイルス。



お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
花村 / 加藤 / 内山

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp